



地域循環圏・2R推進シンポジウム

～循環型社会の形成を目指して～

天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」の形成に向けて、さまざまな取組が進められています。

環境省では、広く知られるようになった「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」に加え、「地域循環圏」の形成と2R(リデュース、リユース)に重点を置いた「2R」の推進にも積極的に取り組んでいます。

今般、これらの取組状況等を知っていただくためのシンポジウムを開催します。

奮って御参加ください。

日時 平成27年3月17日(火) 13:00～16:50

会場 国際ファッションセンター10階101～102会議室
東京都墨田区横網一丁目6番1号 TEL:03-5610-5801

参加費無料 定員80名

プログラム(敬称略)

13:00～ 開会挨拶 環境省廃棄物・リサイクル対策部

＜第Ⅰ部＞地域循環圏の形成に向けて

13:05～ 基調講演 「地域循環圏の形成に向けた取り組み」
(独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センターセンター長 藤田壮

13:20～ 事例紹介1 「福岡県南筑後地域プラスチック等循環圏形成モデル事業」 (株) TRES

13:30～ 事例紹介2 「山形県、宮城県との広域連携による食品廃棄物、家畜排泄物を活用した電力、肥料・飼料生産による地域循環圏形成モデル事業」 バイオソリッドエナジー (株)

13:40～ 事例紹介3 「鳥取県東部における食品廃棄物の液肥化等による地域循環圏形成」 (株) 廃棄物工学研究所

13:50～ 事例紹介4 「中部地方(名古屋駅周辺)における地域循環圏形成推進事業」 三菱UFJリサーチ&コンサルティング (株)

14:00～ 総合討論 「広めよう! 地域循環圏(地方創生と地域循環圏)」

コーディネーター (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センターセンター長 藤田壮

コメンテーター 早稲田大学環境総合研究センター准教授 小野田弘士
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長 鬼沢良子
北九州市立大学国際環境工学部教授 松本亨

14:45～ 休憩

＜第Ⅱ部＞2Rシステムの構築に向けて

15:00～ 基調講演 「2Rの推進に係る現状と次なる取組」
(独) 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室長 田崎智宏

15:15～ 話題提供1 「くらしを変えて 未来に夢を」 大垣市環境市民会議 事務局次長 奥田陽子

15:30～ 話題提供2 「リユースびんの現状と課題」 びんリユース推進全国協議会事務局長 小沢一郎

15:45～ 話題提供3 「3R行動見える化ツールのデモンストレーション」 (一社) 環境情報科学センター 齋喜敬史

16:00～ 総合討論 「私たちに身近な2R」

コーディネーター (独) 国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室長 田崎智宏

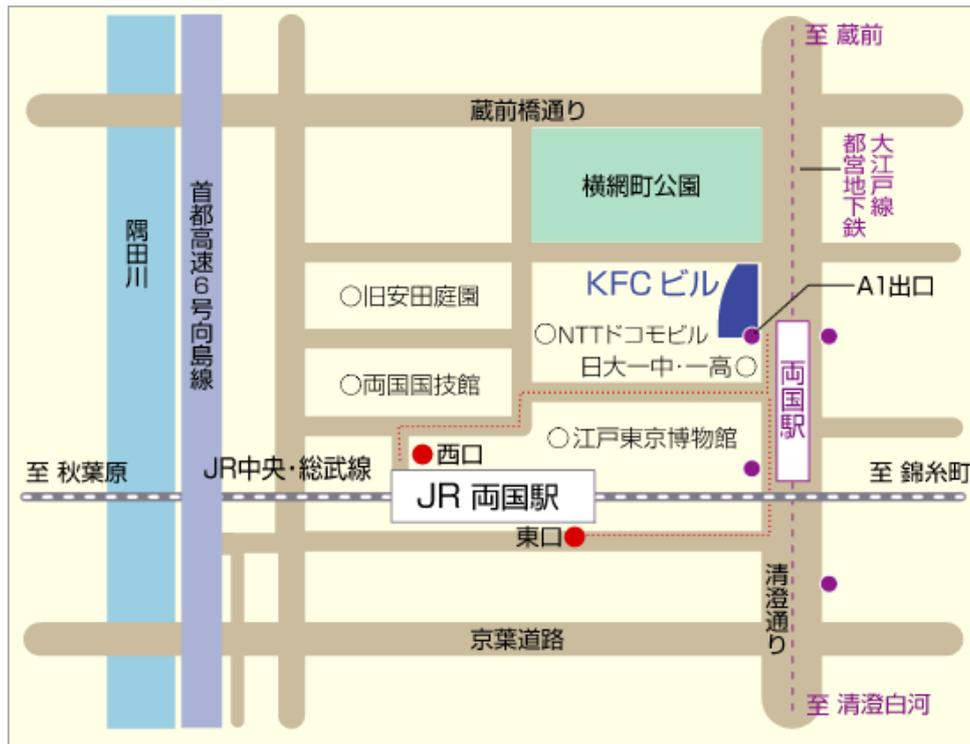
コメンテーター 早稲田大学環境総合研究センター准教授 小野田弘士
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 崎田裕子
日本チェーンストア協会環境委員会委員 百瀬則子

16:45～ 閉会挨拶 環境省廃棄物・リサイクル対策部

■参加方法: 参加御希望の方は、(公財) 廃棄物・3R研究財団(受託事業者)のホームページからお申し込みください。
<http://www.jwrf.or.jp>

※お申し込みは電話又はFAXでも可能です。 TEL:03-5638-7161 FAX:03-5638-7164

★アクセスのご案内



●電車でのご利用

[地下鉄]

都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 出入口に直結。

[JR]

□JR 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約 6 分。

東口改札より線路沿いを千葉方面へ向かい、突き当たり大通りを左折しガードをくぐり、約 200m 先左手 25 階建てビル。

□JR 中央・総武線「両国駅」西口より徒歩約 7 分。

西口改札より両国国技館と江戸東京博物館の間の歩行者用通路に沿って、車止めのある十字路を右折。両国中学校と江戸東京博物館の間のレンガ道を進み大通りを左折し、約 50m 先左手 25 階建てビル。

●車でのご利用

清澄通りを北に向かって KFC ビル駐車場入り口案内に従い左折。

※反対側車線から駐車場へは入れませんのでご注意ください。

KFC ビル駐車場：24 時間営業・136 台・250 円/30 分

※二輪車の駐輪場はありません。

(ただし、止むなく駐輪を希望される場合には、自動車と同額の駐車料金となります。)